



特定非営利活動法人

防災士会 みやぎ

MIYAGI BOUSAISI ORGANIZATION



■『仙台未来フォーラム2025』より
特定非営利活動法人 日本防災士会 東北支部連絡協議会参加者一同

- 令和6年度活動報告と総括及び令和7年度の抱負
- 令和6年度宮城県受託事業について
- 令和6年度宮城県防災指導員フォローアップ講習について
- 令和6年度各事業部活動報告
- 令和6年度新入会員のご紹介
- 編集後記

Vol.21

2025.3

防災士会みやぎ
総会員者数

158名

(令和7年3月末現在)

令和6年度活動報告と総括 及び 令和7年度の抱負



理事長 兎玉 敏幸

相も変わらず、新型コロナウイルス感染症の継続やインフルエンザ感染症の蔓延と続いておりますが、通常の生活が来たと思えば、豪雨災害が毎年当たり前のように発生する状況で有り、昨年1月の能登半島地震の発生や宮崎県沖地震に伴い初めて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発令される等、我々防災に関わる者達にとっては心休まる暇がない大変な1年でした。

より一層我々防災士に対する期待が高まるきっかけとなった年でも有ると感じています。

本会に於きましては、今年度も過去最高件数の「講師派遣依頼」や自治体(宮城県・仙台市・大崎市等)からの委託業務の増加、また仙台管区气象台や企業等からの「防災・減災」事業での協業依頼や相談が本当に多かった一年となりました。

また、3月8日「世界防災フォーラム2025」に併催となった「仙台防災未来フォーラム2025」に於いては、「防災士会みやぎ」ブースと併設して「日本防災士会東北支部連絡協議会」合同ブースも出展し、日本防災士会本部事務局長や東北各県支部長の参加を頂き、「東北に防災士ネットワーク有り!」を来場者の皆様感じて頂けたのではと思っております。

これもひとえに、各会員がそれぞれ大変な中、本会活動に尽力頂いた事、そして県内多くの自治体や東北大学災害科学国際研究所、NHK仙台拠点放送局や仙台管区气象台等々の関係機関の皆様のご尽力のおかげと執行部一同心から感謝申し上げます。

さて、詳細な活動内容としましては、宮城県の「宮城県防災指導員フォローアップ講習事業」「防災実践力向上支援事業」「宮城県主査級職員防災研修事業」等継続しての委託業務を受託して実施してまいりました。

また、大崎市及び他自治体からも約60件の「講師派遣依頼」をいただき、派遣依頼自治体数・依頼企業数・派遣依頼件数・延従事人数・会員参加者数等が過去最高となる活動を行ってまいりました。

さらに、大きな動きとしては、国土交通省及び宮城県・自治体からの依頼で、東北地方で初めて特定都市河川に指定され発足した「吉田川・高城川命と生業を守る流域治水推進協議会」へ民間代表として参画し活動してまいりました。

なお、宮城県からは本会の活動に対して今年度も高い評価を頂いており、令和7年度に実施予定の継続事業や新規の事業に関する相談や協力依頼が入って来ております。

間違い無く、令和7年度も本年度以上に本会の活動の幅と活動数が増加して行くものと確信をしている所です。

さらに、新たな活動の場として「学生防災推進プロジェクト(仮称)」(本会所属の学生(小・中・高・大学生)防災士中心に)を立上げ進めてまいりますので、会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。



学生防災推進プロジェクト(仮称)

宮城県委託事業 「令和6年度防災実践力向上支援事業」について

理事長 児玉 敏幸

令和6年度支援対象地区

1. 大和町「吉田 沢渡・八志田行政区自主防災会」

①支援希望内容：地区防災計画の見直し（活かした防災計画の策定）

特に高齢化率約50%で昼間高齢者・若年者率75%となる地区のため、高齢者防災（避難行動要支援者対策）を重点に「組織改編」と「支援者名簿」及び「支援者マップ」を作成し、最終的に「個別避難計画」の策定を支援。

6月から毎月1回の活動を実施し、毎回自主防役員以外に住民多数参加及び大和町担当職員参加と積極的な活動を行って頂き、目標を達成出来ました。

②支援担当者：児玉 敏幸 防災士（理事長）

③自治体担当者：危機対策課 甚野室長・大友室長補佐（毎回参加）



2. 美里町「小島行政区自主防災会」

①支援希望内容：災害に強く安心なまちづくりの推進

高齢化が進んでいる地域で有り、特に水害に脆弱な地区のため、自主防災会全体の行動計画と「災害時要配慮者・要支援者」対策を重点に支援。

「小島地区避難行動計画」の策定とそれに伴う「支援者情報カード」「要支援者マップ」を作成し、それを基に「支援者の配置（組織改編）」や「避難行動マニュアル」を策定した。

6月からほぼ毎月活動を実施、おおむね支援目標を達成しました。

②支援担当者：鈴木 博行 防災士・補助 児玉 敏幸 防災士

③自治体担当者：総務部防災管財課 佐野地域防災指導員・千田主事（毎回参加）



令和6年度宮城県防災指導 フォローアップ講習事業報告

業務責任者 菅原 純一
連絡調整担当者 高橋 健一
印刷・編集担当者 鈴木 博行

◆スタッフ

- ・講師：保田真理、菊地正衡、高橋健一、桑野知美、児玉敏幸、高橋弘樹、佐藤真吾
- ・補助者：菊地正衡、垣下美紀、佐藤真吾、平岡育子、木立芳行、阿部和子、若生 彩、高橋弘樹、尾崎洋二、阿部 馨、菅原純一、鈴木博行(印刷・編集)

●開催地別講習内容 全13回

| 回数 | 開催日 | 主催自治体 | コース |
|----|--------------|----------|------------------|
| 1 | 令和6年 8月25日 日 | 登米市 | 防災計画作成 |
| 2 | 令和6年 8月31日 土 | 七ヶ浜町 | 避難所行動要支援者支援体制づくり |
| 3 | 令和6年10月27日 日 | 名取市 | 防災計画作成 |
| 4 | 令和6年11月10日 日 | 石巻市 | 避難所運営体制づくり |
| 5 | 令和6年11月16日 土 | 塩竈市 | 避難所運営体制づくり |
| 6 | 令和6年11月23日 土 | 美里町・大崎市 | 防災マップ作成 |
| 7 | 令和6年11月24日 日 | 加美町・色麻町 | 避難所運営体制づくり |
| 8 | 令和6年11月30日 土 | 柴田町・大河原町 | 防災計画作成 |
| 9 | 令和6年12月 1日 日 | 角田市 | 防災マップ作成 |
| 10 | 令和7年 1月18日 土 | 気仙沼市 | 避難所運営体制づくり |
| 11 | 令和7年 1月25日 土 | 栗原市 | 防災計画作成 |
| 12 | 令和7年 2月 1日 土 | 富谷市 | 防災マップ作成 |
| 13 | 令和7年 2月16日 日 | 白石市 | 避難所運営体制づくり |

<完了報告及び委託業務合格通知>

- 2/20 宮城県防災指導員フォローアップ講習委託業務完了報告書提出
- 2/28 宮城県知事より防災指導員フォローアップ講習委託業務合格通知

・受講者総数385名 最多受講者 名取市開催 48名

コメント

今年度は 8/25 登米市開催から 2/16 白石市開催まで、昨年度より5回多い13回の長丁場となりましたが、各回のアンケート集計によると概ね好評価でした。これもひとえにスタッフの皆様のお陰と感謝いたします。

又、宮城県担当者からは来年度も是非受託していただきたいとのありがたいお言葉も頂戴したことを付け加えます。

合格通知



令和6年度 派遣事業部活動報告

派遣事業部 部長 高橋健一、鈴木博行、加藤忠悦、高橋弘樹

派遣事業部では、県内各地の自治体・町内会・自主防災組織・学校等から講師派遣依頼を受け、会員の皆様から講師・補助者等を募集して派遣しており、令和6度は、2月末までに、60か所への派遣を実施してまいりました。

地域の内訳は、大崎市内からの依頼が47件、残り13件が他地区(白石市、富谷市、亘理町、女川町、涌谷町、加美町)でした。また、今年は大崎市職員を対象とした研修に加えて、角田市職員向け研修も実施しました。自治体からの信頼の証だと思っており、今後、市町村職員向けの研修の依頼が増えていくことが予想されます。

講師・補助者等として令和5度は34名が従事しましたが、令和6年度は40名と増加し、初めて従事した方も多数おりました。これも偏に会員の皆様のご協力があったとのことと感謝申し上げます。

派遣依頼時期の傾向としては、11月が最も多くなりました。同日に4会場への派遣依頼と県防災指導員フォローアップ講習が重なってしまい、講師等の配置に苦慮することもあり、講師等の育成が派遣事業部の喫緊の課題です。

今後もこれまで同様、講師・補助者・見学者を募集してまいります。

講師歴豊富な方も初めは初心者でした。まずは、補助者や見学者として、講話内容や進め方等を学びながら、いずれ講師として活動していただけますことを期待しております。

また、初めて講師として講話などに取り組む際には、派遣事業部員がサポートしますので、安心してチャレンジしていただきますようお願いいたします。



令和6年9月に、派遣事業部として「派遣事業部ワーキンググループ」を立ち上げました。

これは、派遣講師の育成とレベルアップを目的に、派遣先で講話を行う際に必要なスキルを学ぶ場として立ち上げたもので、現在22名が登録しております。

これまでに、当会会員でワーキンググループのメンバーでもある石黒浩伸氏を講師として2回の研修会をオンラインで実施しました。

内容は、

1回目…「プレゼンの流れとプレゼン資料の作り方」

- ・プレゼンテーションの概要
- ・プレゼンテーションのデザイン
- ・プレゼンテーションの流れを組み立てる
- ・パワーポイントの作り方

2回目…「プレゼンテーションの伝え方」

- ・プレゼンテーションスキルの構造
- ・伝え方(デリバリー)の構造

10代の新入会員も増えてまいりました。令和7年4月から未成年者の派遣事業等への参加につきましては、以下のようにさせていただきますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

高校生……保護者の方に承諾をお願いします。(承諾書)

中学生以下…保護者の方に承諾並びに当日の引率をお願いします。(承諾書等)

令和6年度 防災士会みやぎ スキルアップ研修会報告

研修事業部 部長 菅原純一・桑野知美・阿部 馨・佐藤亜矢子

◆第1回 9月8日(日)13時30分～15時50分 《担当 菅原》

- ・会場:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- ・演題:【派遣事業講師養成講座】※派遣事業部とタイアップ企画
- ・内容:派遣事業における講師としての「心構え、並びに講話の仕方、資料・パワーポイントの作り方やコツ」を学ぶ。
- ・講師:防災士会みやぎ 前理事長 菊地 正衡 防災士
- ・講話後に3つのグループにわかれて意見交換会を実施
- ・参加人数:19名



◆第2回 12月14日(土)13時30分～15時50分 《担当 阿部》

- ・会場:宮城県婦人会館 第1研修室
- ・演題:【わが家と地域の防災力アップ講座】
～気候変動による災害リスクの増大～
- ・内容:気候変動に伴って増加する線状降水帯をはじめとする気候変化の現状を理解し、災害リスクを減らす方法を学ぶ。加えて、今年8月に令和元年の運用開始以降初めて発表された「南海トラフ地震臨時情報」についての知識を深める。
- ・講師:仙台管区気象台 気象防災部 気候変動・海洋情報調整官 森下 秀昭様
気象防災部 気象防災情報調整官 鈴木 達也様
- ・講話後に4つのグループにわかれて意見交換会を実施
- ・参加人数:20名



◆第3回 3月15日(土)13時30分～15時50分 《担当 阿部》

- ・会場:宮城県婦人会館 第1研修室
- ・演題:【震災の教訓と災害情報の活用法】
- ・内容:通信技術や観測技術の発達によって速やかに災害情報を入手できるようになった社会においての、災害情報の活用と注意点を学ぶ。
- ・講師:河北新報社
防災・教育室部長兼論説委員会委員 須藤 宣毅様
- ・講話後に意見交換会を実施
- ・参加人数:46名(うち一般参加者23名)



令和6年度 広報事業部活動報告

広報事業部 部長 高橋弘樹・鈴木博行・児玉敏幸・阿部馨

●仙台管区気象台の協力要請により参加

「学都『仙台・宮城』サンエンス・ディ2024」

- 日時／7月14日(日) 9:00～16:00
- 場所／東北大学 川内北キャンパス
- 参加者／防災士会みやぎ 会員8名

《内容》

- ①「おてんき・じしん2024 in サンエンス・ディ展示体験ブース」支援
- ②減災絵本「リオン」読み聞かせ



●特定非営利活動法人 防災士会みやぎ会報 Vol.20発行

- 発行日／令和6年9月30日(月) 発行部数／200部

●特定非営利活動法人 防災士会みやぎPR誌制作

- 発行日／令和6年10月31日(木) 発行部数／1,000部



●(株)仙台放送エンタープライズの要請により出展

「東北・みやぎ復興マラソン2024」

- 日時／11月3日(日) 9:00～16:30
- 場所／名取市民体育館前特設会場
復興マルシェ
- 参加者／防災士会みやぎ 会員4名

《内容》

マラソン参加者・来場者・ボランティアの皆様に対し「防災士会みやぎ」PR冊子・AED資料などの配布や当会の紹介・入会案内と減災絵本「リオン」資料配布及び領布案内を行いました。

多くの方に、熱心にお聞きいただきましたが、中には、防災士の資格を取得されている方もいらして防災士会みやぎに関する質問も受けました。



●特定非営利活動法人 防災士会みやぎ会報 Vol.21発行 ※本誌

- 発行日／令和7年3月31日(月) 発行部数／200部

- ▶「会報」につきましては、令和7年度も会員の皆様にご協力を頂きながら、出来るだけ皆様の役に立つ情報をお伝えできますよう取り組んでまいります。
- ▶防災関連機関・団体からの防災イベント等の協力要請に関しましては、理事会で協議を行い、広報事業部として対応について判断しながら活動を行なってまいりますので、会員の皆様には、今後ともご協力・ご助力を宜しくお願い申し上げます。

令和6年度 キッズ事業部活動報告

キッズ事業部 部長 佐藤亜矢子・桑野知美・加藤忠悦・菅原純一

■減災絵本『リオン』の頒布

長崎県の保育士の方をはじめ、岩手県、高知県、奈良県、兵庫県、和歌山県等の防災士や防災リーダーの方々、防災教育の市民団体「ゆりあげかもめ」や、大分県、神奈川県、宮城県等の支援学校、親の会、自閉症協会など各種団体の方からご依頼をいただき、令和6年度は、約30冊(3月16日現在)の減災絵本『リオン』が全国の方々の手に渡りました。



■減災絵本『リオン』読み聞かせ活動

令和6年度は、前回の会報誌でご紹介した7月14日(日)に開催された「学都『仙台・宮城』サイエンスデイ2024」のほか、以下2つのイベントで読み聞かせを行いました。多くの親子に来場いただき、『リオン』のメッセージを伝えました。



①「2024仙台長町紙芝居フェスティバル」

10月12日(土)、太白区長町笹谷街道界隈および“たいはっくる”前で開催された紙芝居フェスティバルに仙台管区气象台との協働参加をしました。今回は減災絵本『リオン』だけでなく、仙台管区气象台からお預かりした紙芝居も上演しました。また“たいはっくる”前で開催されたファイナルステージでは読み聞かせに加えて防災士会みやぎの活動紹介も行いました。

②「東北・みやぎ復興マラソン2024」

11月3日(日)、弘進ゴムアスリートパーク仙台周辺(マラソンスタート地点、2kmキッズラン・親子ペアラン会場)ランナーサービスエリアの防災・減災ブース(テント)にて、参加前後の親子や来場された方々へ、減災絵本『リオン』紙芝居の読み聞かせや、親子向けの防災の話をしました。

読み聞かせ上演は午前中3回、午後4回の計7回。大人32名、子ども35名、合計67名の来場があり、テント脇から熱心に聴いてくださっている親子の姿もありました。

令和6年度の活動には、幅広い年代の会員も参加し、読み聞かせに挑戦していただきました。『リオン』の読み聞かせは初めてという方々には、1回目は経験者が読み聞かせを実演しているところを見てもらい、読み聞かせの際の注意点やポイントについて確認してから、いざ実践。子どもたちの反応があることがとても励みになっていたようで、また読み聞かせの機会があれば参加したいという意見をいただきました。

■減災絵本「リオン」を購入された団体「こうちJBL(女性防災リーダー)」の富永美智様からご報告をいただきました。

「12月20日、休眠預金活動事業の一環として川口保育所園児のための防災・減災プログラムを開催しました。プログラムでは①マットを使っての地震等の揺れ体験②紙コップとライトペンを使ってのプラネタリウム作成③独自のお散歩による避難経路確認④『リオン』の読み聞かせを行いました。最後に保育園への『リオン』贈呈セレモニーを行い、園児や先生方にも喜んでいただけました。」

高知県の子どもたちにリオンのメッセージを届けていただきました。

令和6年度 女性防災推進室活動報告

女性防災推進室 室長 佐藤亜矢子・桑野知美

前回の会報誌にて行ったアンケートへのご協力ありがとうございました。今年度中の活動に繋げるにいたらず申し訳ございませんでした。来年度からの活動に反映させて参ります。

「吉田川・高城川 命と生業を守る 流域治水推進協議会」について

親会代表 NPO法人防災士会みやぎ 理事長 児玉 敏幸
実務者会議担当 NPO法人防災士会みやぎ 監 事 尾崎 洋二

東北で初めて令和5年7月18日に「吉田川・高城川が特定都市河川」に認定されました。令和5年8月10日に「流域対策協議会」が発足。国土交通省東北整備局・宮城県からの要請で「防災士会みやぎ」が協議会に参画致しました。

(公的機関(国土交通省・農林水産省等)及び関係自治体以外で一般参画は本会のみ)

吉田川・高城川流域水害対策協議会 実務者会議

●第1回

日時/令和5年10月19日(木) 13:30～15:40

●第2回

日時/令和5年12月22日(火) 13:30～15:30

「吉田川・高城川命と生業を守る流域治水推進協議会(計画名称変更)」実務者会議

●第3回

日時/令和6年3月1日(金)10:00～12:00

●第4回

日時/令和6年4月25日(火)13:00～15:30

●第5回

日時/令和6年8月29日(木)10:00～12:00

場所/志田谷地防災センター「会議室」

【議事】

- (1)パブリックコメントの実施状況と意見への回答について
- (2)素案の見直しと今後のスケジュールについて

吉田川・高城川命と生業を守る流域治水推進協議会

●第2回

日時/令和6年6月4日(火)15:15～16:30

●第3回

日時/令和6年10月25日(金)15:00～17:00

場所/志田谷地防災センター「鎌田記念ホール」

【議事】

- (1)今後の吉田川・高城川の流域治水推進についての意見交換

※「吉田川・高城川命と生業を守る流域治水推進協議会」実務者会議は第5回を持って終了。来年度から計画の実務推進の「命と生業を守る協働推進チーム」が組織され、国土交通省東北整備局依頼により引き続き当会も参画。

「吉田川・高城川命と生業を守る流域治水推進協議会」に本会が参画し活動を続けていく意義について。

この一年間の中心議題と計画部分は、主にハード面での対策及び計画が主題となって実施されたが、来年度の「協働推進チーム」は本会の主体となる「ソフト面」での参画となる事を国土交通省でも理解されての要請で有り、本会の参画意義が有ると考えたため。

多田川流域における流域治水の推進に向けた準備会

●第1回

日時/令和7年1月23日 10:00～11:30

場所/大崎地域水管理センター

新たに「特定都市河川」指定に向けた重点流域として追加指定されるための準備着手の「鳴瀬川水系多田川流域」の治水推進に向けた取組として「準備会」が発足され、本会も昨年に続き国土交通省より依頼され参画を検討のため「概要説明会」に児玉敏幸理事長・尾崎洋二が参加した。

【議事内容】

- (1)多田川流域における流域治水の推進について
- (2)関係機関からの流域治水推進に向けたメッセージ

※現在参画中の「吉田川・高城川」同様、本会としても防災・減災への取組への参画意義が有るものとして参画を承諾する事とした。。



会員の皆様が日頃行っている 防災活動について

4名の会員の方々に日頃の防災活動について「どういった思い」で「どんな防災活動」をされているのかを教えてくださいました。



木立 芳行 防災士 (居住地/仙台市)

防災士になったきっかけ 気象台に勤務し、気象情報の発信を主な業務としていました。しかし、それらの情報を地域にどう活かすかが重要だと考え、防災士の資格を取得しました。

活動など 近年、地球温暖化の影響で猛暑や大雨などの異常気象が増え、災害の規模も拡大しています。

科学の進展により、「イベント・アトリビューション」という手法が確立され、異常気象と地球温暖化の関係が定量的に評価されるようになりました。例えば、昨年9月の能登豪雨では、地球温暖化の影響により雨量が約15%増加したと報告されています。地球温暖化が極端な気象現象を加速させているのは、疑いようのない事実でしょう。

しかし、ただ災害を恐れるだけでは意味がありません。正しい知識こそが適切な行動につながります。過度に恐怖を煽るのではなく、災害に対する「正しい畏れ方」を伝えることが、防災士としての大切な役割だと考えています。

また、防災講話も、一方的な情報提供ではなく、参加者が主体的に関わる対話の場を設けることが重要だと考えます。自分ごととして捉えてもらうためには、ワークショップ形式の取り組みが効果的であり、そのためには、私たち自身もファシリテーターとしてのスキルを磨く必要があると感じています。

防災の原点は、地域の絆とコミュニケーションにあります。地域の同士が対話し、共に考え、支え合うことで、災害時の迅速な対応や助け合いが可能になります。最近では、講座の中で短時間ながらグループワークを取り入れるようにしています。

私たち防災士が果たすべき役割は、ますます重要になっています。地域の人々とともに学び合いながら、災害に備えていければと思っています。



平岡 育子 防災士 (居住地/柴田町)

私は現在、高校生から3歳児まで、4人の子どもを育てているママ防災士です。

防災士の資格を取得したきっかけは、2015年3月に仕事を辞めたことです。

気象予報士資格の取得を目指しながら2年半ほど気象関係の仕事をしていましたが、長男の小学校入学時に仕事を辞めました。

気象の仕事に携わった2年半、除雪中の事故や平成26年8月豪雨による広島土砂災害に心を痛めました。

気象予報士は防災士資格をお持ちの方が多く、まず防災士資格を取って社会の役に立ちたいと思い、2015年11月に資格を取得しました。

その後も気象予報士試験の勉強を数年続けましたが、資格取得が難しく、気象予報士試験の勉強は見切りをつけました。

ただ、近年気象災害が非常に多く発生しています。

現在は気象の雑誌を読んだり、過去の災害について学んだりしています。

私は2024年度、防災士会みやぎの活動に講師の補助として数件携わりました。また、講師としても1件携わりました。

そして、より幅広く防災士の活動をしたいと思い、昨年9月に応急手当普及員の資格を取得しました。

ことし4月に末っ子が幼稚園入園を予定しています。

今後は、これまでよりも防災士会みやぎの活動に関わることが出来ればと考えております。

また、地区の活動としては防災関係の役員を務めることが決まりました。さらに、地域の活動としては、社協の方々と一緒に小中学生を中心とした子どもたちへの防災教育に携わることが出来ればと考えております。



伊藤 隆志 防災士 (居住地/仙台市)

会報をご覧くださいの皆様、私は伊藤隆志と申します。現在63歳、元自衛官です。自衛官を定年後に介護福祉士の資格を取得し介護の仕事に従事していました。還暦の時に、町の防災部長を拝命し、翌年、防災士の資格を取得し防災士会みやぎに入会いたしました。

防災士会みやぎでの活動では、補助者として講話を経験した後、昨年の夏に先輩方のご指導を受けながら講師を体験させていただきました。また、復興マラソンや仙台防災未来フォーラムなどにも参加させていただいております。

先にも述べましたが、私が防災士を目指したきっかけは、町の防災部長に就任したことです。私の住む町は七北田川の支流、梅田川沿いに位置しています。ハザードマップでは水害が起こると3メートルから5メートルの浸水が予測されており、さらに利府長町断層にも近接しています。もともと水田や湿地帯であったため地盤が緩く、地震の時には大きな揺れが発生することも想定されます。東日本大震災時には津波も到達しており、水害、地震とも被害が予想されるような地域での防災を担当することになり、知識・技術・情報の重要性を痛感し、防災士の資格取得に至りました。

今後は、防災部長として防災計画の作成や訓練を通じて、住民の防災意識を少しずつ高めていくこと、防災士会での体験を通し、先輩方の指導の下、知識や技術、情報を得ることに努め、学んだこと経験したことをそれぞれにフィードバックしながら防災活動を展開していく所存です。

本会会員 山口 岳人 防災士 ビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご2024」において 防災教育事業で「イノベ環境インキュベーション賞」受賞!!



山口 岳人 防災士 (中学3年) (居住地/仙台市)

今回、賞を頂いたイノベのたまご2024は仙台高等専門学校からお話を頂き、ぜひ挑戦したいという思いから構想を練りあげた。福島県のイノベーションコートを推進する地域について知識を深めるため、母とともに双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館に訪れ、より正確で詳細な情報を得た。そこで私は一つの事に気が付いた。それは、伝承館などの防災に関する事への関心がない人には、この確然たる情報が届くことがないということだ。確実な情報・知識を有さないということは生命を守ることが困難になる、この現状を何としてでも打破するべく私は防災教育システムを考案した。それが、「若年層への早期教育」である。いくつかの要因から気づきを得たこの「若年層」には重大な危機が潜んでいる。それは、学校や地域での防災教育が未発展の状態にあり、子供自身の防災意識が低い状態にあるという事である。このことには、イノベのたまごの発表スライドを作成するため、中学校の文化祭で心肺蘇生法の体験学習ブースを開設した際に収集したアンケートの中で痛感させられた。そして、システムの概要としては、学区民運動会の防災バージョンのようなDisaster Prevention Day(防災の日)を全国の学生が主体となり地域全体で行うというものであり、学生が運営を行うためには相応の正確な知識が体に染みついていく必要がある。そのため、クラス単位の小規模なグループでの事前学習で有識者(防災士)を交えて行う。そして地域全体を巻き込んで行うこの「DPD」は災害時のリハーサルとなり、防災を主軸とした災害に強い社会を構築することが可能になる。

人間社会全体で防災意識を向上させていくため、このシステムのみにとどまらず多様な伝承方法で確かな情報発信と同世代同士でのディープな防災体験学習を主導して参りたい。



令和6年度新入会員のご紹介

今年度、防災士会みやぎに、ご入会頂きました防災士の皆様の中から5名の方をご紹介します。今後の皆様のご活躍を心からご期待させていただきます。



川村 千代子 防災士

(居住地／名取市)

令和元年東日本台風の日、実家周辺は、泥水で30m以上の川ができ、発生から1週間以上経ってもたどりつけませんでした。実家は、土砂に埋も

れ瓦礫が散乱した状況でした。

仙台市消防局統括が周辺にご遺体が漂着している可能性を示唆したので協力させて頂きました。

また、近所のご高齢のご夫婦は、自衛隊のヘリで救助された後、避難所生活をされていた。

私が訪問すると「近所の人たちは、避難したのに私たちは、何も知らないから自宅にいたの。教えてくれたらいいのにね」と私にお話しされました。

周囲との連帯の不足と避難の課題を知った時、私は、防災士になろうと思いました。

防災士会みやぎの活動は、防災・減災支援です。皆さんと協力し幸せな明日を目指しましょう。



東 順子 防災士

(居住地／美里町)

美里町で、マッサージ屋さんを17年やっています。普通のマッサージ屋さんとの違いは、「何でも教える」ということです。それでお客さんが来なくなるかというそんなこともなく、施業も講師業も途切れる気配はありません。

「自分の健康は、自分で守る」この簡単で、当たり前一言のために仕事をしてきました。マッサージも筋トレも有酸素運動、そして防災も、ミッションの中の仕事です。当然、仕事は大好きですし、やっている仕事は、健康法ですからやればやるほど自分が健康になります。

ここ数年は、年間300本超の講座をこなしています。防災は、情報が命ですから、専門家がたくさんいらっしゃる「防災士会みやぎに」入会してよかったと思っています。



高橋 杏奈 防災士《高校2年生》

(居住地／仙台市)

防災士の資格を2022年に取得しました。最近、大雨や地震が相次いでおり、大きな災害が起こる確率も高まっています。その中で、1つしかない

命を守るためにはやはり知識が必要不可欠であると思い、防災士を志しました。これから防災士としてどのように活動して行けば良いのかわからずに悩んでいたところ、この会があることを知り、防災士としての活動を活発化させることができると思い、入会しました。防災士会みやぎで先輩方の助言をいただきながら、防災の知識や新しい情報を得てスキルアップを行い、より良い防災士としての活動を展開していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。



加藤 晃咲 防災士《高校1年生》

(居住地／仙台市)

小学生の頃から自然科学に興味があり、人の役に立ちたいという想いがありました。中学生でより細かく学んでいくうちに自然災害という分野にも興味を持つようになりました。その時、偶然防災士という資格があることを知りました。防災の知識を身につけ、伝えることで中学生でも多くの人の命を助けることができると分かり資格を取得に至りました。

「若い世代の魅力」を存分に生かした防災・減災活動を行っていきたくと思っています。

東日本大震災発生時、自分は2歳でした。もちろん物心もついていないため記憶もありません。そこで防災士の先輩方から当時の状況をお聞きしたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

星 英徳 防災士 (居住地／七ヶ浜町)

この度、防災士会みやぎに入会しました 星 と申します。県内の市町村職員です。

令和6年の元旦、こたつでウトウトしていたところ、地震で目が覚め、テレビでニュースを見たら、石川県の大地震を知りました。

その後、1月中旬に石川県へ家屋の被害調査で行くこととなり、現地の状況を目のあたりにした際に「また、東日本大震災クラスの災害が発生するかもしれない。その時に何か防災に関わる資格を取れば、あの震災の時よりも地域の役に立つのではないか」と思い、防災士の試験を受けました。

今後、防災士として色々な事業や会員の皆さんと交流することで、自分自身の経験やネットワークを広げたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

「学生防災推進プロジェクト(仮称)」設立について

理事長 児玉 敏幸

本会では防災・減災活動における若い力の必要性を従来より感じており、学生(小・中・高・大学生)防災士の育成や防災活動への積極的参加を推進したいとの思いを持っておりました。

本会にも現在小・中・高校生防災士が加入されており、今回ありがたい事に学生防災士の方から、防災・減災への思いを込めた活動提案を頂きましたので、是非、その力を活かす場を作って行ければとの考えから、令和7年度「学生防災推進プロジェクト(仮称)」を立上げ、本会所属の学生防災士等の力を借りながら推進して行く事となりました。

■活動の概要

- 1).小学生・中学生・高校生においてそれぞれの理解力の違いに配慮し小学生・中学生・高校生向けのテーマで講話資料の作成を行う。
- 2).子供から大人まで幅広い年代へ向けた講話の開催及び学生講師の育成。
- 3).SNS(LINE・YouTube等)への関りの多いデジタルネイティブ世代が主体となつての防災情報発信や若者目線での防災・減災へのアイデアや知識・情報発信等を期待しています。

■運営及び指導について

本会役員(中学校教諭経験者:高橋副理事長)が担当する事を決定しています。

「令和7年度定時総会」の開催について

理事長 児玉 敏幸

特定非営利活動法人防災士会みやぎの会員の皆様に対して、令和6年度の活動についての詳細報告と予算の執行状況報告及び令和7年度の事業計画(案)及び収支予算(案)等を本会会員の皆様に審議して頂く「令和7年度定時総会」を本年6月に開催予定です。

特に令和7年度は2年に一回の「役員改選」の年となっております。

年度が替わりましたら、改めて会員の皆様に「令和7年度定時総会」のご案内と本会役員への立候補のご案内をさせていただきますので、その節は宜しくお願い致します。

■「令和7年度定時総会」開催概要

日 時: 令和7年6月14日(土) 13:00~15:00

場 所: みやぎNPOプラザ 3階 「宮城県婦人会館 第一研修室」

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地

備 考: 総会資料については、後日、案内及び議案集を送付致します

その他: 総会終了後、研修会及び意見交換会と懇親・情報交換会を予定しております。

新年度に向けて、会員の皆さんのお役に立つ会報誌になりましたでしょうか。今後共様々ご協力を頂けますよう、よろしくお願いいたします。(H.T)



編集後記



お待たせいたしました!「会報誌Vol.20」を皆さまにお届け致します。今回から紙面を大幅に大幅にリニューアルさせて頂きました。今後も皆さまに会のリアルな情報をお伝えさせていただきます。どうかご期待下さい! (by SUZUKI)



特定非営利活動法人 防災士会みやぎ Vol.21 2025.3



〒983-0851 宮城県宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザNo.22
連絡先(事務局):080-1821-0335

●当会に関するお問合せ・ご相談は、下記メールにてご連絡下さい。
jimukyoku@bousaishi-miyagi.org

●当会に関する詳細につきましては、下記HPでご確認下さい。
<http://bousaishi-miyagi.org/>

